令和８年１０月１日版

令和８年度

研修案内


新規採用職員研修（県階層別研修）


構造物（擁壁）設計演習


新人・初級研修［後期］（市町階層別研修）


橋梁点検ＯＪＴ

公益財団法人
兵庫県まちづくり技術センター

30th ANNIVERSARY 1996-2026

研 修 計 画

1 研修の基本方針

職場ＯＪＴでは学びきれない専門知識の底上げを行い、職員の技術力向上を支援します

建設技術担当者として知識の習得が必要な基本的な講座と、より専門知識の習得が必要な実践的な講座を組み合わせ、年間３６講座を開催します。

体験型研修として演習・実習科目を積極的に導入し『実践的な研修を実施』します

段階的に学べるように関連する研修については『研修コースの受講を推奨』します

ＩＣＴを活用した研修を効果的に取り入れて『より多くの受講機会を確保』します

2 研修コースの設定（受講の推奨）

段階的に学べるように関連する研修については研修コースを設定し、年間通じて技術力の向上を図れるよう研修コースの受講を推奨します。

年間通じて研修コースで学びませんか？

研修コース（受講の推奨）
こんな方におすすめです

道路計画・交差点改良の考え方や実例を学びたい	道路計画コース	道路計画 7/24	交差点計画 令和9年度開催予定	アスファルト 8/28	
総合治水や機械設備の維持管理・点検を学びたい	河川計画コース	ダム管理 5/11～12	土木機械設備 10/16	河川講習会 1月予定	
コンクリートの性質、橋梁点検や補修を学びたい	メンテナンスコース	コンクリート 7/31	鋼橋 10/9	道路橋ﾒﾝﾃﾅﾝｽ 1月予定	
設計演習を通じて設計照査のポイントを学びたい	構造物設計コース	土質設計中級編 7/10	切土･盛土設計 8/20	擁壁設計 9/18	仮設構造物設計 12/3

※ 交差点計画は２年に１回の実施

※ 土質設計基礎編は土質設計中級編と隔年実施

3 研修の開催方式

従来の対面研修に加え、ＩＣＴを活用した研修（ハイブリッド研修・オンデマンド研修）を効果的に取り入れて開催します。

対　面　研　修	講師と受講者が一堂に集まり対面式で受講できます。
ハイブリッド研修	対面研修の状況を通信端末へライブ中継し職場等でもリアルタイムで受講できます。
オンデマンド研修	録画配信のため、都合のいい時間・場所で受講できます。

申し込みから受講まで

1 研修の申し込み

・研修開催日の約３週間前に、県・市町等の研修事務担当者様へ、研修の実施要領とプログラムをセンター研修担当アドレス（下記）からメールでご案内します。
・県・市町等の研修事務担当者様において、申し込み期日までに受講希望者を取りまとめの上、「研修管理システム」でお申し込みください。

センター研修担当　E-mailアドレス
「 kenshu@hyogo-ctc.or.jp 」企画調整課 研修担当

2 受講決定通知

・研修開催日の約１０日前に、県・市町等の研修事務担当者様、受講者様へ「受講決定通知」をメール送信します。

3 受講当日など

・研修会場は原則、「研修管理システム」出退席を行うため、受付は行いません。
・請求書は、研修後、約２週間以内に電子請求書発行システムを介して電子請求を行います。

電子請求書発行システムの利用全般に関するお問い合わせ
総務部 財務第１課　☎０７８－３６７－１２３１

請求額や請求書に記載した内訳に関するお問い合わせ
企画部 企画調整課　☎０７８－３６７－１２２４

受講者の声（研修レポート）

《 》令和７年度 受講者数

市町職員階層別研修 新人・初級《 》
［前期］48人　［後期］20人

・公共土木工事の積算について、一連の流れを演習で学ぶことができた。早速、実務に活かしていきたい。
・小雨交じりの中、測量実習について熱心な指導を受け、有事の現場を想定しながら集中して取組む事ができた。




アスファルト舗装の基礎知識《76人》
［ハイブリッド研修］

・改質ｱｽﾌｧﾙﾄ供試体など異なる種類のｱｽﾌｧﾙﾄ供試体を実際に触れる事でｱｽﾌｧﾙﾄの性質の違いを実感できた。
・但馬地域勤務で移動時間から研修に参加しにくいが、職場でオンライン参加出来たので助かりました。




道路計画演習《48人》

・道路構造令を読んではいたが、わかりやすく噛み砕いて解説いただき、より理解を深めることができた。
・ルート検討、縦断図、横断図を手作業で作図することで、今後、道路行政に関わる基礎知識が身についた。




現場研修《31人》

・事業の概要、発注者指定型工事の流れ、特殊工法による具体的な施工について、座学で学び現場で確認することができ、非常に有意義だった。
・特殊工法を現場見学できたことは貴重な体験でした。




部門別の研修実施予定一覧

県職員階層別研修（兵庫県と共催）

受講者指定

部門		研修コース	日程	会　場	募集人数	研　修　目　的
県職員階層別研修	1	新規採用職員研修（前期）	5/13～15	まち技会議室		令和８年４月に新規採用された総合土木職員を対象に、技術公務員の仕事、土木の基礎知識、設計書作成、工事監理等により技術公務員としての不可欠な基礎知識を修得し、職務を適切に遂行する能力を養う。
	2	新規採用職員研修（後期）	9/3～4	神戸市教育会館		令和８年４月に新規採用された総合土木職員を対象に、県が実施している社会基盤施設老朽化対策を学ぶとともに、新規採用職員研修（前期）をフォローアップし、より実務に即した研修を行う。
	3	新規採用職員研修（実習）	/～	調整中		新規採用された総合土木職員を対象に、現地測量から数量計算までの全体の手順を習得することを目的に実務に即した研修を行う。
	4	フォローアップ研修（前期）	6/26	私学会館		採用２年目の総合土木職員を対象に業者指導（工事・コンサルタント）のポイント、施工計画書の確認演習等の研修を行い、技術職員として技術力の向上を図る。
	5	フォローアップ研修（後期）	7/31	私学会館		採用３年目の総合土木職員を対象に成績評定の実務などの講義や詳細設計成果品の確認演習を行い、技術職員として更なる技術力の向上を図る。
	6	中級研修	11/27	私学会館		採用５年目の総合土木職員を対象に、個別事業の推進に必要な技術的スキルを身につけ、総合土木職員としてのレベルアップを図る。
	7	主任研修	/	調整中		主任に昇格した総合土木職員を対象に、職場を牽引する中堅職員として自立し、事業推進にあたっての総括的な業務等を学ぶ。
	8	主査研修	/	調整中		主査に昇格した総合土木職員を対象に、組織として主幹・課長を補佐し、組織を運営する力を養成する。
	9	主幹・課長研修	5/ 8	農業共済会館		主幹・課長を対象に監督職としての心構えや役割等を学ぶ。

市町職員階層別研修

部門		研修コース	日程	会　場	募集人数	研　修　目　的
市町職員階層別研修	1	新人・初級研修［前期］	5/28～29	私学会館	60人	建設事業の経験が概ね3年以内の職員を対象に、技術公務員の仕事、土木工事の監督基礎、土木工事の積算演習を行い、職務に必要な基礎知識を習得する。
	2	新人・初級研修［後期］	10/1～2	震災資料保管庫他	50人	建設事業の経験が概ね3年以内の職員を対象に、ﾎﾟｰﾙ横断測量と水準測量の実習を実施し職務遂行に必要な基礎的知識と技能の習得を図る。また阪神高速震災資料保管庫の見学を行い、震災の教訓を学ぶことで防災･減災意識の向上を図る。
	3	現場監督実務研修	12/11	国土交通省近畿技術事務所	20人	施工不良の排水性舗装及び実物大のCon構造物模型を用いた品質管理やAs舗装の検査技術の体験実習を通じ、現場監督員として必要な設計・施工・品質管理・検査の実務能力の向上を図る。

専門分野別研修

部門		研修コース	日程	会　場	募集人数	対象者 県	対象者 市町	研　修　目　的
道路・橋梁等	1	道路計画演習	7/24	私学会館	40人	●	●	道路の基本条件の考え方と演習、道路線形に関する考え方と演習、道路計画演習を行い、道路計画の立案、設計についての基本的技術を習得する。
	2	Ａs舗装の基礎知識【ハイブリッド】	8/28	私学会館	80人	●	●	舗装の施工及び施工管理、舗装の維持補修と工法の選定、ＴＡ法によるAs舗装設計演習の研修を行い、施工及び施工管理の留意点等について理解を深める。
	3	コンクリートの基礎知識【ハイブリッド】	7/31	私学会館	80人	●	●	コンクリートの基本的性質、施工管理の要点、構造物の劣化原因とその影響、調査診断、補強における設計・施工の留意点等により、施工から維持管理までの一連の基礎知識を習得する。
	4	鋼橋【ハイブリッド】	10/9	私学会館	80人	●	●	鋼橋の概要、架設方法、保全工事における基礎作業と留意点の紹介、鋼橋の補強工法の研修により、実務に関する基本的知識を習得する。〔ＰＣ橋との隔年実施〕
	5	道路橋メンテナンス	1/	調整中	50人	●	●	社会基盤施設が急速に老朽化しており、計画的・効率的な対策が望まれる中、「橋梁」の基礎知識や点検方法並びに補修事例に関する講義を行い、技術力向上を図る。
砂防・河川等	6	河川講習会	1/	調整中	40人	●	●	流域治水を踏まえた河川計画や、多自然川づくりの事例の研修により、環境に配慮した川づくりに関する基本的知識を習得する。

部門別の研修実施予定一覧

専門分野別研修

部門		研修コース		日程	会　場	募集人数	対象者 県	対象者 市町	研　修　目　的
河川・砂防	7	土木機械設備（河川・海岸）		10/16	湊排水機場	25人	●	●	老朽化が進む土木機械設備（排水機場等）の点検・整備に関する基準、要領等の解説及びポンプ設備の仕組みや維持管理及び故障対応を学び、排水機場の見学を通じて土木機械設備の基礎知識を習得する。
	8	ダム管理	基礎	5/11	私学会館	30人	●	●	ダム管理を行う上で必要となる、ダムの維持管理・点検に係る留意点や機械・電気設備の概要について学ぶとともに、ダムの安全管理のための計測や、巡視・点検等の現地実習を通じて、ダムに関する基礎知識の習得と実務能力の向上を図る。
			実務	5/12	青野ダム	24人	●	●	
	9	砂防及び急傾斜地		8/25	私学会館	40人	●	●	砂防事業を行う上で必要となる、砂防及び急傾斜地の計画策定並びに施設設計に係る留意点などの基礎知識の習得を図る。
災害	10	災害復旧実務研修 【オンデマンド】		7/21 ～8/31	－	－	●	●	災害復旧の実務経験が少ない職員を対象に、被災した公共土木施設の被災メカニズムなど災害復旧事業の基礎知識を習得し、災害復旧に関する実務能力の向上を図る。
構造物設計等	11	詳細設計と現場のチェックポイント 【ハイブリッド】		7/ 1	私学会館	80人	●	●	設計ミスの事例から施工条件に基づく詳細設計のチェックポイントや照査の着眼点を学び、工事検査の知識と必要なスキルを習得することで現場監督員としての実務能力の向上を図る。
	12	地盤調査（土質設計演習中級編）		7/10	私学会館	40人	●	●	設計に必要な調査・試験、直接基礎・杭基礎をテーマにした支持力計算演習を行い、設計に必要な地盤情報（土質定数）と支持力計算等について理解を深める。〔基礎編との隔年実施〕
	13	地盤調査（切土・盛土設計）		8/20	私学会館	40人	●	●	構造物設計に必要な地盤調査と設計土質定数について理解を深めるとともに、斜面安定計算演習や圧密沈下計算演習を通じて切土・盛土設計に関する基本的知識を習得する。
	14	構造物（擁壁）設計演習		9/18	私学会館	40人	●	●	構造物設計のポイント、重力式擁壁及び逆T式擁壁の安定計算、擁壁設計におけるミス事例により理解を深め、擁壁設計に必要な基本的技術を習得する。
	15	仮設構造物設計演習		12/ 3	私学会館	40人	●	●	仮設構造物設計に際しての留意点・注意事項等について、「土留め工」を対象としてそのポイントを解説するとともに、設計演習により適切な計画の立案、設計が行えるよう実務能力の向上を図る。
上下水道	16	水道		11/26	私学会館	40人	●	●	安全、安心な水道の持続的な供給を可能とするため水道行政の現状を知るとともに、水道経営の課題や水道事業の事例を学び、水道施設の危機管理に関する知識を習得する。
	17	下水道 【オンデマンド】		/ ～	－	－	●	●	下水道事業の概要、管渠・施設のストックマネジメント計画の策定手法、下水道事業におけるＢＣＰ計画の策定手法、機械・電気設備の維持管理など、下水道に関する基本的知識を習得する。
新技術・現場	18	現場研修		10/30	港口水門（本港地区）大鳴門橋自転車道	40人	●	●	県内の土木工事及びまちづくりについて、実際の現場を見学しながら研修することにより、土木技術者としての実務能力の向上を図る。
	19	ICT活用工事		1/	調整中	20人	●	●	ICT活用工事の現状と兵庫県の取り組み、工事管理のポイント、3次元設計データ作成、ICT機器の体験を通じて、ICT活用工事において実務能力の向上を図る。
まちづくり	20	土地区画整理研修		6/19	私学会館	40人	●	●	土地区画整理業務に携わる職員を対象に、区画整理をめぐる最近の話題、区画整理のしくみ、換地設計、換地計画のしくみ、事例紹介等に関する研修により、基礎知識と実務能力の向上を図る。
	21	まちづくり研修		2/	調整中	40人	●	●	まちづくりに携わる職員を対象に、参画と協働によるまちづくりを効率的、効果的に進めるために、県市町職員のなすべき役割を学び、必要な能力（基礎知識や政策形成能力）の向上を図る。

専門分野別研修（対象者が限定される研修）

部門		研修コース	日程	会　場	募集人数	対象者 県	対象者 市町	研　修　目　的
ＯＪＴ	1	砂防ＯＪＴ《兵庫県と共催》	7/6～8 7/29～31	和田山庁舎 ※）事業課へ直接の募集を行います	10人	●	－	「ひょうご土木技術マイスター」及び県職員の指導のもと、砂防堰堤の概略設計及び手書き図面の作成など設計演習を行うことにより、若手技術職員の育成を図る。
	2	河川ＯＪＴ《兵庫県と共催》	8/4, 18 9/4, 11	姫路土木事務所 まち技会議室 豊岡土木事務所 ※）事業課へ直接の募集を行います	40人	●	－	「ひょうご土木技術マイスター」及び県職員の指導のもと、流域からの流出量や河川の流下能力の算出等を行うことにより、若手技術職員の技術力向上を図る。
	3	橋梁点検ＯＪＴ	/	調整中	20人	－	●	「ひょうご土木技術マイスター」等の指導のもと、橋梁点検の留意点や健全性を判断する際の視点について、座学と実地研修を行うことにより若手技術職員の育成を図る。

研修カレンダー

県職員階層別研修
市町職員階層別研修
ＯＪＴ

開催日		研修名	分野別
5月	8日	主幹・課長	県
	11,12日	ダム管理（基礎・実務）	専門
	13日～15日	新規採用（前期）	県
	28,29日	新人・初級［前期］	市町
6月	19日	土地区画整理	専門
	26日	フォローアップ(前期)	県
7月	1日	詳細設計と現場のﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ〔ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ研修〕	専門
	10日	地盤調査(土質設計演習中級編)	〃
	24日	道路計画演習	〃
	7月21日～8月31日	災害復旧実務〔ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ研修〕	〃
	31日	フォローアップ(後期)	県
	31日	コンクリートの基礎知識〔ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ研修〕	専門
8月	20日	地盤調査（切土・盛土設計）	専門
	25日	砂防及び急傾斜地	〃
	28日	アスファルト舗装の基礎知識〔ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ研修〕	〃
9月	3,4日	新規採用（後期）	県
	18日	構造物（擁壁）設計演習	専門

■県職員階層別研修

未定	調整中	新規採用（実習）	県
	〃	主任・主査	〃

開催日		研修名	分野別
10月	1,2日	新人・初級［後期］	市町
	9日	鋼橋〔ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ研修〕	専門
	16日	土木機械設備（河川・海岸）	〃
	30日	現場研修	〃
11月	26日	水道	専門
	27日	中級	県
12月	3日	仮設構造物設計演習	専門
	11日	現場監督実務	市町
1月	調整中	河川講習会	専門
	〃	下水道〔ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ研修〕	〃
	〃	ICT活用工事	〃
	〃	道路橋メンテナンス	〃
2月	調整中	まちづくり研修	専門

■ＯＪＴ

7月	6～8日(前期) 29～31日(後期)	砂防	専門
8月	4日,18日	河川	〃
9月	4日,11日	河川	〃
未定	調整中	橋梁点検	〃

■ 年間通じて録画配信〔ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ研修〕

年間配信	配信中	災害復旧制度	専門
	10月1日～令和9年2月26日	地盤調査（土質試験）	〃
	9月1日～令和9年2月26日	公共測量基礎講座	〃



現場立会のチェックポイントを動画で紹介しています！

現場経験が少ない職員向けに立会時のポイント等をまとめた解説動画を公開しています。

『コンクリート構造物編・配筋検査(基礎編)・道路土工(盛土編)』

https://www.hyogo-ctc.or.jp/ctc/training/webken/explanation_site/



公益財団法人
兵庫県まちづくり技術センター　企画部 企画調整課（研修担当）
〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-21
☎ 078-367-1224　E-mail kenshu@hyogo-ctc.or.jp　URL https://www.hyogo-ctc.or.jp